平成 23 年 11 月 11 日

各　　位

シ ラ イ 電 子 工 業 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長　小 島　甚 昭
（コード番号：6658）
問い合わせ先：　取締役　経理・財務担当
小　谷　峰　藏
電話番号：０７５－８６１－８１０２

営業外損失の発生及び平成 24 年３月期第２四半期業績予想との差異の発生に関するお知らせ

当社は、平成 24 年３月期第２四半期連結累計期間（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）におきまして、営業外損失が発生することになりましたのでお知らせいたします。

また、平成 23 年５月 13 日に公表いたしました平成 24 年３月期第２四半期累計期間（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）の連結業績予想及び個別業績予想に差異が発生することになりましたのでお知らせいたします。

記

１．営業外損失の発生

当社はシンジケートローンによる借入れを実行し、海外子会社に対して円建てで設備投資資金を貸付けております。このため、平成 24 年３月期第１四半期連結累計期間では 103 百万円の為替差益を計上いたしましたが、昨今の急激な円高の影響により、当第２四半期連結累計期間におきましては、連結決算に為替差損 25 百万円を計上することとなりました。

なお、これは平成 24 年３月期第２四半期末時点での為替相場による評価換算差損であり、通期の為替差損の額は、平成 24 年３月期末の為替相場により変動いたします。

また、中国にあります持分法適用会社の業績が悪化したことから、当第２四半期連結累計期間におきまして持分法による投資損失 67 百万円を計上することとなりました。

２．業績予想との差異

①　平成 24 年３月期第２四半期連結業績予想数値との差異
（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）

（単位：百万円・％）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	12,000	△200	△350	△360	△25.76
今回実績（B）	11,407	△69	△304	△364	△26.11
増減額（B－A）	△593	131	46	△4	―
増減率（%）	△4.9	―	―	―	―
（ご参考）前期第２四半期実績	11,854	△154	△465	△592	△42.42

② 平成24年３月期第２四半期個別業績予想数値との差異
（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（単位：百万円・％）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	6,200	△100	△70	△75	△5.37
今回実績（B）	6,095	57	81	33	2.42
増減額（B－A）	△105	157	151	108	―
増減率（％）	△1.7	―	―	―	―
（ご参考）前期第２四半期実績	6,818	244	316	193	13.81

３．差異発生の理由

（連結）

売上高につきましては、プリント配線板外観検査機事業は堅調に推移いたしましたが、プリント配線板事業におきましては、東日本大震災の影響によりカーエレクトロニクス関連及びアミューズメント関連での受注が減少し、他分野への拡販に努めたものの減収分全てを補うことができなかったため、平成23年５月13日に公表（以下「前回公表」という）いたしました業績予想に比べ５億93百万円減収の114億７百万円となりました。

営業損益につきましては、売上高は減収となりましたが、中国自社工場の本格稼動により内製化が進み仕入高が減少したことや国内外での製造力強化活動の取組み効果等により原価率が改善し、売上総利益が増加したことから、前回公表いたしました業績予想に比べ１億31百万円改善となる69百万円の営業損失となりました。

経常損益につきましては、長引く円高の影響による為替差損の発生や、持分法適用会社の損益悪化は想定の範囲内でありましたが、予想以上に営業損失が改善したことにより、前回公表いたしました業績予想に比べ46百万円改善の３億４百万円の経常損失となりました。

四半期純損益につきましては、株式市場の低迷により投資有価証券評価損の発生はありましたが、予想した額とほぼ同額の３億64百万円の四半期純損失となりました。

（個別）

売上高につきましては、東日本大震災の影響によりカーエレクトロニクス関連及びアミューズメント関連での受注が減少したことにより、前回公表いたしました業績予想に比べ１億５百万円減収の60億95百万円となりました。

営業損益につきましては、売上高は減収となりましたが、外注加工費の削減や製造力強化活動の取組み効果等により原価率が改善したことから、前回公表いたしました業績予想に比べ１億57百万円増益の57百万円の営業利益となりました。

経常損益につきましては、営業利益の増益や支払利息の減少等により、前回公表いたしました業績予想に比べ１億51百万円増益の81百万円の経常利益となりました。

四半期純損益につきましては、株式市場の低迷により投資有価証券評価損の発生はあったものの、営業利益及び経常利益の増益により、前回公表しました業績予想に比べ１億８百万円増益の33百万円の四半期純利益となりました。

なお、第３四半期以降の業績の見通しにつきましては、引き続き国内・海外とも景気や為替の動向が不透明であり、またタイで発生しました洪水や国内の電力問題の影響等が懸念されることから、現時点におきましては通期の業績修正は行わず、据え置いております。今後、業績予想の修正が必要なことが判明いたしました場合には、速やかに公表させていただきます。

以　上